

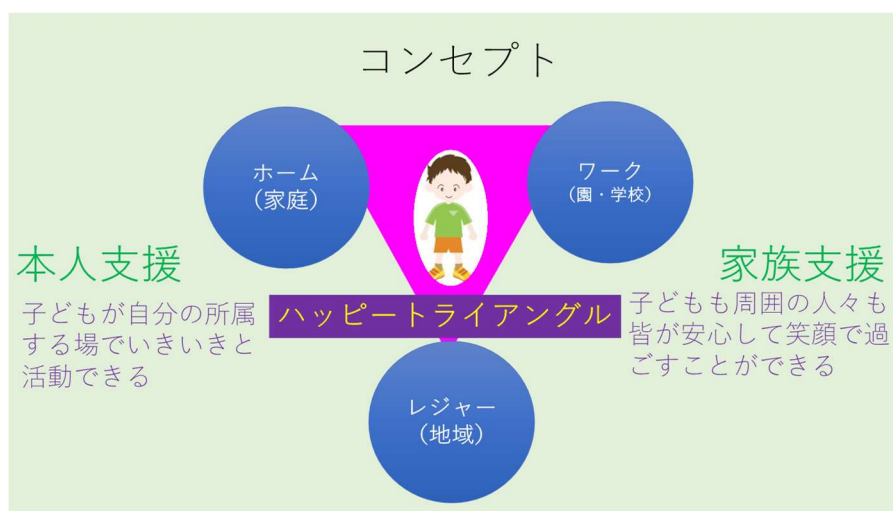
株式会社 LIBO LIB 東淀川(児童発達支援・放課後等デイサービス)
【当事業所における支援プログラム】

〈基本情報〉

- ① 事業所名 LIB 東淀川
- ② 作成年月日 令和6年10月1日
- ③ 法人理念
 - A) すべての子どもたちの成功を目指す(利用者第一主義)
 - B) 科学的根拠に基づいた質の高い療育(科学第一主義)
 - C) 職員の専門性の向上と働きやすさの実現
 - D) 持続可能な障害福祉サービスの提供
- ④ 支援方針

重度心身障害を持つ方やご家族が、現在から将来に渡り、より安心して幸せに暮らすことができるように、一緒に考え支える存在になることをめざす

 - ご本人に対して 医療的ケアの提供、入浴支援、特性に応じたプログラムの提供・実施など
 - 家族、関係者に対して 人材育成、相談支援、家庭支援、連携、啓発活動など



- ⑤ 営業時間

月曜日から金曜日、日曜日・祝日
(8月10日から20日までの3日間および12月30日から翌年1月3日までを除く)

月曜日から金曜日	10時00分から17時00分
日曜日・祝日	10時00分から16時30分
- ⑥ 送迎実施の有無 有

〈支援内容〉

- ⑦ 本人支援の内容と5領域の関連性

お子様一人ひとりのアセスメントに基づき、発達段階やニーズに合わせた個別プログラムを作成し、専門的なケアや療育を実施(以下の5領域の支援内容を含む)

発達支援の5領域(児童発達支援・放課後等デイサービス)

領域	ねらい	支援内容	計画への反映例
ア) 健康・福祉	健康状態の維持・改善 生活のリズムや生活習慣の形成 基本的な生活スキルの獲得	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態のチェック・観察 睡眠、栄養管理、排泄等、基本的な生活リズムを整える支援 咽喉、嚥下、姿勢保持、自衛具等に関する支援 感染症の予防、原疾患の悪化を防ぐ、安全への配慮 日常生活や社会生活を営めるように、身体的、精神的、社会的訓練 身の回りの清潔、食事、衣服の着脱、排泄等の生活に必要な基本的な技能の習得 時間や空間を本人にわかりやすく構造化する 栄養、呼吸管理等、生命維持に不可欠な医療的ケアの支援 入浴、清拭等、身体を清潔に保つ支援 療法士による身体機能の向上および維持に関する支援 	<ul style="list-style-type: none"> 体調観察の実施及び保護者や医療機関との連携による健康管理 一日のスケジュールを作成し、規則正しい生活リズムの確立 食事や日常生活での自衛具の使用法を検討、実施 安全な生活環境の整備と事故防止対策及び緊急時の対応マニュアルの整備と訓練 コミュニケーションスキルの向上を目指したソーシャルスキルトレーニング 衣服の着脱や排泄の自立支援 医師の指示の基、栄養管理計画を実施 医療的ケアの実施と記録 適切な入浴方法の検討、実施 個別のリハビリテーションプログラムの作成と実施 生活の中での運動習慣の確立と指導
イ) 運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上 姿勢と運動・動作の補助的の活用 保有する感覚機能の向上	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や全身運動・動作の習得および向上 関節の拘縮や変形の予防 筋力の維持・強化 五感を十分に活用できるような遊びの支援 感覚の特性に対する環境調整等の支援 	<ul style="list-style-type: none"> バランスボールなどを使用し体幹のバランスを取る練習を行い、姿勢保持の向上を図る 保有した機能を最大限活用できる自衛具などを使用し日常生活動作を習得する 療法士によるストレッチングやリラクゼーションで筋肉や関節の柔軟性を高める 風船や粘土など感触の異なる物に触れる 音の出る絵本やスヌーズレン、楽器などを使用し視覚、聴覚、触覚を刺激し脳を活性化させる 寝る、ちぎる、丸めるといった動作を通して手先の感覚を高める 比較概念や色形に関心が湧くような言葉かけをする
ウ) 認知・行動	認知の発達と行動の獲得 空間・時間、数等の概念形成の習得	<ul style="list-style-type: none"> 五感を活用して、必要な情報を収集し認知機能の発達を促す支援 環境から情報を取得・選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達支援 日頃から触れる物の機能や属性、形、色、音などが変化する様子、空間・時間等の概念形成を図ることによって、認知や行動の手がかりとして活用できるための支援 数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援 特性を踏まえ、情報を適切に処理できるための支援 	<ul style="list-style-type: none"> 色鮮やかなバスルや絵本を使用し、視覚的な刺激を通じて認知機能の発達を促す 音楽や音の出るおもちゃを使うことで、聴覚の発達を支援し、音を通じた情報収集能力を高める 風船や粘土遊びを通じて、触覚を強化し、触覚的な情報の処理能力を向上させる 環境から得られる情報を適切に選択し、行動につなげる認知過程の発達を促す ご利用児の特性を理解し、それに応じた適切な情報処理ができるようにする
エ) 言語・コミュニケーション	言語の形成と活用 言語の受容および表出 コミュニケーションの基礎的能力の向上 コミュニケーション手段の選択と活用	<ul style="list-style-type: none"> 具体的なものや体験と言葉の意味を結びつける支援 体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で、児童が自分の考えや気持ちを言葉や表情、ジェスチャーなどで表現する機会を創やす。 視覚的な支援を用いて、言葉とその意味を結びつける。 言葉ゲームやアクティビティを導入し、楽しく言葉学ぶ。 成長の記録とフィードバックを定期的に行い、支援の効果を確認する。 音の出る絵本・道具、DVD鑑賞などを通して、さまざまな感情表現力につながる機会を提供する。 利用中の様々な介助やコミュニケーションの場面で、ご利用児に積極的に働きかけを行うとともにご利用児の反応を見逃さないようにする。
オ) 人間関係・社会性	他者とのかかわり 自己の理解と行動の調整 仲間づくりと集団への参加	<ul style="list-style-type: none"> 人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成するための支援 遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援 一人遊びから並行遊び、大人が介入して遊ぶ複合的な遊び、協同遊び(役割分担やルールなど) 気持ちや情動の調整ができるようになる支援 集団参加のための手順やルールの理解、遊びや集団活動に参加できるための支援 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で、職員や他の児童の行動を観察し、模倣する機会を提供する。 模倣遊びを取り入れ、具体的な動作や言葉を学ぶ場を設ける。 成功体験を重ねることで、自信を持って模倣行動を行えるように支援する。 年齢や発達段階に応じた遊びを提供し、社会的スキルを養う。 集団活動を通じて、協調性やルールを守ることの重要性を学ぶ。 絵カードや写真を用いて、さまざまな感情を認識するトレーニングを行う。 感情の名前や表現方法を教え、自分の気持ちを適切に伝える力を育む。 ご利用児や保護者からのフィードバックを取り入れ、支援方法を柔軟に検討する。

⑧ 家族支援の内容

支援場面の観察や参加の機会提供、本人・きょうだい児についての相談援助等、随時実施

⑨ 移行支援の内容

地域社会への参加の充実、移行に向けた準備支援、移行先との調整等、随時実施

⑩ 地域支援・地域連携の内容

所属機関／支援者の参観受入及び訪問参観、情報交換や支援会議での連携等、随時実施

⑪ 職員の質の向上に資する取組

公益社団法人子どもの発達科学研究所、こころの発達研究所等の協力のもと、

以下の項目について年間研修計画を立て、全職員で研修後、研修報告書を提出し、保管

- 虐待防止研修
- 身体拘束等適正化研修
- 感染症対策研修／感染症対策訓練（感染症 BCP・安全対策）
- 防災 BCP 研修／避難訓練
- 職員スキルアップ研修
- 制度研修
- ハラスメント（人権）研修
- 管理者研修
- 新入社員研修
- 専門職研修

等

⑫ 主な行事等 外出支援、季節イベント、小集団活動